

子どもの貧困研究のフロンティア 定例学術研究会 ＜第40回＞

東京都立大学 子ども・若者貧困研究センターでは、「子どもの貧困」に関するさまざまな学術分野の最新の研究を紹介し、学術分野の垣根を超えた研究交流を目指して、定期的な研究会を行っています。

今回は、学校教員に対するインタビューから、教師にとって貧困とはどのような問題であるのかを分析した研究を紹介します。

教育社会学では、教師の貧困のとらえ方が「子どもの貧困」を論じるうえで、重要な論点となっています。また、貧困研究でも、人々の貧困観に対する関心が向けられています。しかし、そのような、人々の貧困観についての議論は発展途上のものとなっています。そこで、本報告では、そもそも人々にとって貧困とはどのような問題であるのか、という課題をどのように考えることができるのか、ということを検討します。そのうえで、教員へのインタビュー調査をもとに、教師にとって貧困とはどのような問題であるのか、そしてそれは自身の職務とどのようにかかわる／かかわらない問題なのかということを検討します。

日時： 2023年7月31日(月) 18:00 – 20:00

報告： 『教師の職業規範と貧困概念の社会学』

報告者： 栗原 和樹（東京都立大学 子ども・若者貧困研究センター 特任研究員）

ハイブリット開催： ZOOM

対面： 東京都立大学オープンユニバーシティ飯田橋キャンパス

（東京都千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館 3階 35教室）

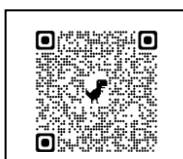
（人数を制限して対面での参加も可能としました）

下記より QRコード又は URLよりお申し込みください（7月31日まで）



ZOOM 申込

<https://zoom.us/meeting/register/tJUqc-itqDgjH9euxdsV9iwBJ6a4k-0usm4n>



対面申込

<https://forms.gle/ppsWHxdNQjuhtCyr8>

お問い合わせ

東京都立大学子ども・若者
貧困研究センター

E-mail: rccap@tmu.ac.jp

（担当者 三浦・松原）